



1-1 建物概要		1-2 外観	
建物名称	(仮称) 鶴見区東寺尾2丁目PJ	階数	地上4F
建設地	横浜市鶴見区東寺尾2丁目366番1、367番1	構造	S造
用途地域	二種中高層住居、準防火地域	平均居住人員	100 人
地域区分	6地域	年間使用時間	8,760 時間/年(想定値)
建物用途	病院	評価の段階	実施設計段階評価
竣工年	2020年8月 予定	評価の実施日	2019年12月9日
敷地面積	1,861 m <sup>2</sup>	作成者	定森淳一
建築面積	904 m <sup>2</sup>	確認日	2019年12月10日
延床面積	2,852 m <sup>2</sup>	確認者	大和ハウス工業㈱横浜支社



### 2-1 建築物の環境効率(BEEランク&チャート)

**BEE = 0.9** ★★★★★

S: ★★★★★ A: ★★★★★ B+: ★★★★★ B: ★★★★★ C: ★

### 2-2 ライフサイクルCO<sub>2</sub>(温暖化影響チャート)

標準計算

①参照値 ②建築物の取組み ③上記+②以外の ④上記+

このグラフは、LR3中の「地球温暖化への配慮」の内容を、一般的な建物(参照値)と比べたライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量の目安で示したものです

### 2-3 大項目の評価(レーダーチャート)

### 2-4 中項目の評価(バーチャート)

**Q のスコア = 2.6**

#### Q1 室内環境

Q1のスコア= 3.1

#### Q2 サービス性能

Q2のスコア= 2.6

#### Q3 室外環境 (敷地内)

Q3のスコア= 2.1

**LR のスコア = 3.1**

#### LR1 エネルギー

LR1のスコア= 3.2

#### LR2 資源・マテリアル

LR2のスコア= 3.0

#### LR3 敷地外環境

LR3のスコア= 3.0

### 3 設計上の配慮事項

総合	その他
<ul style="list-style-type: none"> <li>・利用者が過ごしやすい環境作りに努めている</li> <li>・省エネルギー性能への配慮を行う</li> </ul>	0
<b>Q1 室内環境</b> ・遮音性能への配慮・光環境への配慮・空気質環境への配慮	<b>Q2 サービス性能</b> ・機能性への配慮・耐用年数の長い部品部材を採用
<b>Q3 室外環境 (敷地内)</b> ・緑地、中高木の設置・防犯性への配慮	<b>LR1 エネルギー</b> ・省エネルギー性能への配慮
<b>LR2 資源・マテリアル</b> ・リサイクル材を活用している・有害物質を含まない材料を使用している	<b>LR3 敷地外環境</b> ・省エネルギー性能への配慮を行い、地球温暖化防止に努めている

■ CASBEE: Comprehensive Assessment System for Built Environment Efficiency (建築環境総合性能評価システム)  
 ■ Q: Quality (建築物の環境品質), L: Load (建築物の環境負荷), LR: Load Reduction (建築物の環境負荷低減性), BEE: Built Environment Efficiency (建築物の環境効率)  
 ■ 「ライフサイクルCO<sub>2</sub>」とは、建築物の部材生産・建設から運用、改修、解体廃棄に至る一生の間の二酸化炭素排出量を、建築物の寿命年数で除した年間二酸化炭素排出量のこと  
 ■ 評価対象のライフサイクルCO<sub>2</sub>排出量は、Q2、LR1、LR2中の建築物の寿命、省エネルギー、省資源などの項目の評価結果から自動的に算出される



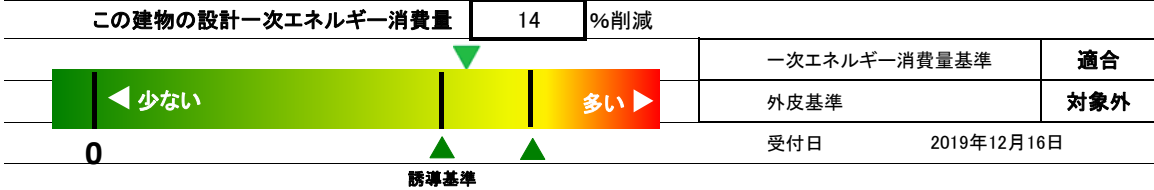
### 4 横浜市重点項目についての環境配慮概要 <非住宅>

各項目について配慮した内容を、該当する番号(①~)を示し記述してください。

建物名称 (仮称)鶴見区東寺尾2丁目PJ

#### 建築物の省エネルギー性能 (E) Energy Saving 重点項目への取組(5点満点) 【省エネルギー性能】 2

■省エネルギー性能 (国土交通省告示に基づく表示)



■エネルギー対策 (①建物外皮の熱負荷抑制 ②自然エネルギー利用 ③設備システムの高効率化 ④効率的運用)

①BPIm=0.73

#### 健康・快適な職住環境 (W) Smart Wellness Community 重点項目への取組(5点満点) 【快適・働きやすさ】 3

■室内環境対策 (⑨温熱環境対策 ⑩光環境 ⑪空気質環境)

⑪建材は規制対象外、F☆☆☆☆を採用⑪自然換気有効開口面積が居室床面積の1/10以上⑪全館禁煙としている

■機能性対策 (⑫機能性 ⑬知的生産性向上の取組)

■室外環境(敷地内)対策 (⑭敷地内温熱環境の向上)

#### 防災への配慮 (R) Resilience 重点項目への取組(5点満点) 【防災】 3

■耐用性・信頼性 (⑮耐震・免震 ⑯部品・部材の耐用年数向上 ⑰信頼性)

#### 地域・まちづくりへの貢献 (T) Township & Townscape 重点項目への取組(5点満点) 【地域・まちづくり】 2

■室外環境(敷地内)対策 (⑱生物環境 ⑲まちなみ・景観 ⑳地域性への配慮)

太陽光発電などの導入

環境配慮技術の導入

(太陽光・熱利用、エネルギーマネジメントシステム以外)

エネルギーマネジメントシステム導入



CASBEE横浜2017年版v.1.7

(仮称)鶴見区東寺尾2丁目PJ

バージョン

CASBEE横浜2017年版v.1.7

スコアシート	実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
	配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
<b>Q 建築物の環境品質</b>									<b>2.6</b>
<b>Q1 室内環境</b>									<b>3.1</b>
<b>1 音環境</b>					<b>2.9</b>	0.15	<b>2.8</b>	1.00	<b>2.8</b>
1.1 騒音					3.0	0.40	3.0	0.40	-
1.2 遮音					<b>3.8</b>	0.40	<b>3.6</b>	0.40	-
1 開口部遮音性能					5.0	0.40	5.0	0.30	-
2 界壁遮音性能					3.0	0.60	3.0	0.30	-
3 界床遮音性能(軽量衝撃源)					-	-	3.0	0.20	-
4 界床遮音性能(重量衝撃源)					-	-	3.0	0.20	-
1.3 吸音					<b>1.0</b>	0.20	<b>1.0</b>	0.20	-
<b>2 温熱環境</b>					<b>2.6</b>	0.35	<b>2.6</b>	1.00	<b>2.6</b>
2.1 室温制御					<b>3.0</b>	0.50	<b>3.0</b>	0.50	-
1 室温	快適・働きやすさ		⑨温熱環境		3.0	0.38	3.0	0.57	-
2 外皮性能	快適・働きやすさ	健康・安心	⑨温熱環境 ⑤外皮性能		3.0	0.25	3.0	0.43	-
3 ソーン別制御性	快適・働きやすさ		⑨温熱環境		3.0	0.38	-	-	-
2.2 湿度制御	快適・働きやすさ		⑨温熱環境		<b>1.0</b>	0.20	<b>1.0</b>	0.20	-
2.3 空調方式	快適・働きやすさ		⑨温熱環境		<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	0.30	-
<b>3 光・視環境</b>					<b>2.6</b>	0.25	<b>3.6</b>	1.00	<b>3.1</b>
3.1 昼光利用					<b>2.4</b>	0.30	<b>4.2</b>	0.30	-
1 昼光率	快適・働きやすさ		⑩光環境		2.0	0.60	5.0	0.60	-
2 方位別開口	快適・働きやすさ		⑩光環境		-	-	-	-	-
3 昼光利用設備	快適・働きやすさ		⑩光環境		3.0	0.40	3.0	0.40	-
3.2 グレア対策					<b>2.0</b>	0.30	<b>4.0</b>	0.30	-
1 昼光制御	快適・働きやすさ		⑩光環境		2.0	1.00	4.0	1.00	-
3.3 照度	快適・働きやすさ		⑩光環境		<b>4.0</b>	0.15	<b>3.0</b>	0.15	-
3.4 照明制御	快適・働きやすさ		⑩光環境		<b>3.0</b>	0.25	<b>3.0</b>	0.25	-
<b>4 空気環境</b>					<b>3.9</b>	0.25	<b>3.8</b>	1.00	<b>3.8</b>
4.1 発生源対策					<b>4.0</b>	0.50	<b>4.0</b>	0.63	-
1 化学汚染物質	快適・働きやすさ		⑪空気環境		4.0	1.00	4.0	1.00	-
4.2 換気					<b>3.0</b>	0.30	<b>3.6</b>	0.38	-
1 換気量	快適・働きやすさ		⑪空気環境		3.0	0.50	3.0	0.33	-
2 自然換気性能	快適・働きやすさ		⑪空気環境		-	-	5.0	0.33	-
3 取り入れ外気への配慮	快適・働きやすさ		⑪空気環境		3.0	0.50	3.0	0.33	-
4.3 運用管理					<b>5.0</b>	0.20	-	-	-
1 CO <sub>2</sub> の監視	快適・働きやすさ		⑪空気環境		-	-	-	-	-
2 喫煙の制御	快適・働きやすさ		⑪空気環境		5.0	1.00	-	-	-
<b>Q2 サービス性能</b>					-	0.30	-	-	<b>2.6</b>
<b>1 機能性</b>					<b>1.4</b>	0.40	<b>4.0</b>	1.00	<b>2.7</b>
1.1 機能性・使いやすさ					<b>1.0</b>	0.40	<b>5.0</b>	0.60	-
1 広さ・収納性	快適・働きやすさ		⑫機能性		-	-	5.0	1.00	-
2 高度情報通信設備対応	快適・働きやすさ		⑫機能性		-	-	-	-	-
3 バリアフリー計画	快適・働きやすさ		⑫機能性		1.0	1.00	-	-	-
1.2 心理性・快適性					<b>1.0</b>	0.30	<b>2.5</b>	0.40	-
1 広さ感・景観	快適・働きやすさ		⑫機能性		-	-	4.0	0.50	-
2 リフレッシュスペース	快適・働きやすさ		⑫機能性		-	-	-	-	-
3 内装計画	快適・働きやすさ		⑫機能性		1.0	1.00	1.0	0.50	-
1.3 維持管理					<b>2.5</b>	0.30	-	-	-
1 維持管理に配慮した設計	快適・働きやすさ		⑫機能性		3.0	0.50	-	-	-
2 維持管理用機能の確保	快適・働きやすさ		⑫機能性		2.0	0.50	-	-	-
<b>2 耐用性・信頼性</b>					<b>2.9</b>	0.30	-	-	<b>2.9</b>
2.1 耐震・免震					<b>3.0</b>	0.50	-	-	-
1 耐震性	防災		⑬耐震・免震		3.0	0.80	-	-	-
2 免震・制振性能	防災		⑬耐震・免震		3.0	0.20	-	-	-
2.2 部品・部材の耐用年数					<b>3.0</b>	0.30	-	-	-
1 躯体材料の耐用年数	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上		3.0	0.20	-	-	-
2 外壁仕上げ材の補修必要間隔	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上		2.0	0.20	-	-	-
3 主要内装仕上げ材の更新必要間隔	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上		3.0	0.10	-	-	-
4 空調換気ダクトの更新必要間隔	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上		3.0	0.10	-	-	-
5 空調・給排水配管の更新必要間隔	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上		5.0	0.20	-	-	-
6 主要設備機器の更新必要間隔	防災		⑭部品・部材の耐用年数向上		2.0	0.20	-	-	-
2.4 信頼性					<b>2.6</b>	0.20	-	-	-
1 空調・換気設備	防災		⑰信頼性		3.0	0.20	-	-	-
2 給排水・衛生設備	防災		⑰信頼性		1.0	0.20	-	-	-
3 電気設備	防災		⑰信頼性		3.0	0.20	-	-	-
4 機械・配管支持方法	防災		⑰信頼性		3.0	0.20	-	-	-
5 通信・情報設備	防災		⑰信頼性		3.0	0.20	-	-	-
<b>3 対応性・更新性</b>					<b>2.4</b>	0.30	<b>2.0</b>	1.00	<b>2.1</b>
3.1 空間のゆとり					<b>1.0</b>	0.30	<b>1.0</b>	0.50	-
1 階高のゆとり					1.0	0.60	1.0	0.60	-
2 空間の形状・自由度					1.0	0.40	1.0	0.40	-
3.2 荷重のゆとり					<b>3.0</b>	0.30	<b>3.0</b>	0.50	-
3.3 設備の更新性					<b>3.0</b>	0.40	-	-	-
1 空調配管の更新性					3.0	0.20	-	-	-
2 給排水管の更新性					3.0	0.20	-	-	-
3 電気配線の更新性					3.0	0.10	-	-	-
4 通信配線の更新性					3.0	0.10	-	-	-
5 設備機器の更新性					3.0	0.20	-	-	-
6 バックアップスペースの確保					3.0	0.20	-	-	-



CASBEE横浜2017年版v.1.7  
 (仮称)鶴見区東寺尾2丁目PJ

バージョン CASBEE横浜2017年版v.1.7

スコアシート 実施設計段階		重点項目		建物全体・共用部分		住居・宿泊部分		全体
配慮項目		<非住宅>	<集合住宅>	評価点	重み係数	評価点	重み係数	
		<b>Q3 室外環境(敷地内)</b>				-	0.30	-
1 生物環境の保全と創出	地域・まちづくり	⑩生物環境の保全と創出		2.0	0.30	-	-	2.0
2 まちなみ・景観への配慮	地域・まちづくり	⑨まちなみ・景観への配慮		2.0	0.40	-	-	2.0
<b>3 地域性・アメニティへの配慮</b>				2.5	0.30	-	-	2.5
3.1 地域性への配慮、快適性の向上	地域・まちづくり	⑫地域性への配慮		3.0	0.50	-	-	-
3.2 敷地内温熱環境の向上	快適・働きやすさ	⑬敷地内温熱環境の向上		2.0	0.50	-	-	-
<b>LR 建築物の環境負荷低減性</b>				-	-	-	-	3.1
<b>LR1 エネルギー</b>				-	0.40	-	-	3.2
1 建物外皮の熱負荷抑制	省エネルギー性能	①建物の熱負荷抑制		5.0	0.20	-	-	5.0
2 自然エネルギー利用	省エネルギー性能	②自然エネルギー利用		3.0	0.10	-	-	3.0
3 設備システムの高効率化	省エネルギー性能	③設備システムの高効率化		2.7	0.50	-	-	2.7
<b>4 効率的運用</b>				3.0	0.20	-	-	3.0
集合住宅以外の評価				3.0	1.00	-	-	-
4.1 モニタリング	省エネルギー性能	④効率的運用		3.0	0.50	-	-	-
4.2 運用管理体制	省エネルギー性能	④効率的運用		3.0	0.50	-	-	-
集合住宅の評価				-	-	-	-	-
4.1 モニタリング	省エネルギー性能	④効率的運用		-	-	-	-	-
4.2 運用管理体制	省エネルギー性能	④効率的運用		-	-	-	-	-
<b>LR2 資源・マテリアル</b>				-	0.30	-	-	3.0
<b>1 水資源保護</b>				2.2	0.20	-	-	2.2
1.1 節水				1.0	0.40	-	-	-
1.2 雨水利用・雑排水等の利用				3.0	0.60	-	-	-
1 雨水利用システム導入の有無				3.0	0.70	-	-	-
2 雑排水等利用システム導入の有無				3.0	0.30	-	-	-
<b>2 非再生性資源の使用量削減</b>				3.2	0.60	-	-	3.2
2.1 材料使用量の削減				2.0	0.10	-	-	-
2.2 既存建築躯体等の継続使用				3.0	0.20	-	-	-
2.3 躯体材料におけるリサイクル材の使用				3.0	0.20	-	-	-
2.4 躯体材料以外におけるリサイクル材の使用				4.0	0.20	-	-	-
2.5 持続可能な森林から産出された木材				2.0	0.10	-	-	-
2.6 部材の再利用可能性向上への取組み				4.0	0.20	-	-	-
<b>3 汚染物質含有材料の使用回避</b>				3.3	0.20	-	-	3.3
3.1 有害物質を含まない材料の使用				4.0	0.30	-	-	-
3.2 フロン・ハロンの回避				3.0	0.70	-	-	-
1 消火剤				-	-	-	-	-
2 発泡剤(断熱材等)				3.0	0.50	-	-	-
3 冷媒				3.0	0.50	-	-	-
<b>LR3 敷地外環境</b>				-	0.30	-	-	3.0
<b>1 地球温暖化への配慮</b>				3.4	0.33	-	-	3.4
<b>2 地域環境への配慮</b>				2.8	0.33	-	-	2.8
2.1 大気汚染防止				3.0	0.25	-	-	-
2.2 温熱環境悪化の改善				3.0	0.50	-	-	-
2.3 地域インフラへの負荷抑制				2.5	0.25	-	-	-
1 雨水排水負荷低減				3.0	0.25	-	-	-
2 污水処理負荷抑制				3.0	0.25	-	-	-
3 交通負荷抑制				1.0	0.25	-	-	-
4 廃棄物処理負荷抑制				3.0	0.25	-	-	-
<b>3 周辺環境への配慮</b>				3.0	0.33	-	-	3.0
3.1 騒音・振動・悪臭の防止				3.0	0.40	-	-	-
1 騒音				3.0	1.00	-	-	-
2 振動				-	-	-	-	-
3 悪臭				-	-	-	-	-
3.2 風害、砂塵、日照障害の抑制				3.0	0.40	-	-	-
1 風害の抑制				3.0	0.70	-	-	-
2 砂塵の抑制				-	-	-	-	-
3 日照障害の抑制				3.0	0.30	-	-	-
3.3 光害の抑制				3.0	0.20	-	-	-
1 屋外照明及び屋内照明のうち外に漏れる光への対策				3.0	0.70	-	-	-
2 屋光の建物外壁による反射光(グレア)への対策				3.0	0.30	-	-	-
<b>上記以外の重点項目</b>				-	-	-	-	-
<b>&lt;事務用途&gt;</b>				-	-	-	-	-
知的生産性向上への取組	快適・働きやすさ	⑬知的生産性向上への取組		-	-	-	-	-
<b>&lt;住宅用途&gt;</b>				-	-	-	-	-
<b>健康と安心</b>				-	-	-	-	-
1 化学汚染物質の対策	健康・安心	⑥健康対策		-	-	-	-	-
2 適切な換気計画	健康・安心	⑥健康対策		-	-	-	-	-
3 結露・カビ対策	健康・安心	⑥健康対策		-	-	-	-	-
4 犯罪に備える(共用部の防犯対策)	健康・安心	⑦防犯対策		-	-	-	-	-